



2011年12月15日発行
(討議資料)

■前回来た時よりも、道路などの瓦礫等はだいぶ整理されているが、初めて被災地入りした吉川市民は「なんという景色だ…映像で見るよりもひどい。まだまだ復興には時間がかかるんだな…」と言葉を失っていた。



未だ道路に横たわる漁船

中原 恵人事務所

〒342-0041

埼玉県吉川市保 462-1

Tel&Fax 048-983-7886

HP・ブログ・ツイッターにて近況や思いをお伝えしています↓



※今回の被災地入りに際し、多くの方々から、物資・義援金などのご協力をいただきました。心を込めてお渡ししてきました。ありがとうございました。



道路などの瓦礫は整理されてきているが…

■11月2日、3日と被災地に入った。6月に続き二回目の今回は、僕の呼びかけに応じてくれた20代から70代までの老若男女、様々な職種の吉川市民の方々13名と共に、気仙沼から陸前高田、そして目的地である山田町へと向かった。

◎第一日目「フリーバザー」



仮設住宅に到着。

■9時間以上かかり、ようやく岩手県山田町に到着。この日は仮設住宅集会所でのフリーバザーを企画。災害ボランティアセンターの事前告知協力もあり、会場前にはすでに大行列が出来ており、皆さんから拍手で迎えていただいた。



会場前にはすでに大行列が…！

■吉川市民の協力で集まった、毛布や冬物の洋服、子ども用文具などの物資を2台のワゴンにぎっしり積み込み運び入れたけれど、それらはあつという間に無くなり、大盛況のうちに終了。

■「ごめんね、みんなに行き渡らなくて…」と謝るスタッフに、「何言ってるの、来てくれただけで感謝だよ。また必ず来てよね！」とおばあちゃん達からの暖かい声。



みなさんに大変喜んで頂けました。

■「次回もなるべく、個別のニーズに応えた物資を運んでくるからね」と仮設住宅のみんなに手を振り、いろいろお世話になった行政の方々にもご挨拶し、宿泊先の宮古へ。